

地域から日本を変える Local Initiatives Transform Japan

サポーターズタイムズ

Supporters Times



2005年(平成17年) No.117  
4月1日(毎月1日発行)

発行所  
秋葉けんやサポーターズ事務所  
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈字長左衛門下30-36  
Tel 022(375)4477  
Fax 022(375)0057  
E-mail:kenya@akiba21.net

宮城県議会議員 **秋葉 けんや** 政策・活動レポート

購読料 年額6,000円  
振込先 秋葉けんや後援会  
口座番号 七十七銀行本店(普) 6385206  
仙台銀行黒松支店(普) 2336691  
郵便振替 02290-2-37770  
編集 関アクトジャパン

# クリーンな政治・選挙を実現しよう

## 議員条例 <sup>提案数</sup> <sub>実現数</sub> 日本一の手腕を国政に!

ある人は理想だけを追って  
現実から自らを隔離してしまう  
どんなに立派な理想を持っていても  
それでは何の価値もない

またある人々は現実と妥協し  
理想を忘れてしまう  
これも悲劇だ

私は現実をしっかりと見据えた  
理想主義者でありたい

*Robert F Kennedy*

秋葉けんやは、理想主義の  
「志」を高くかけます!!

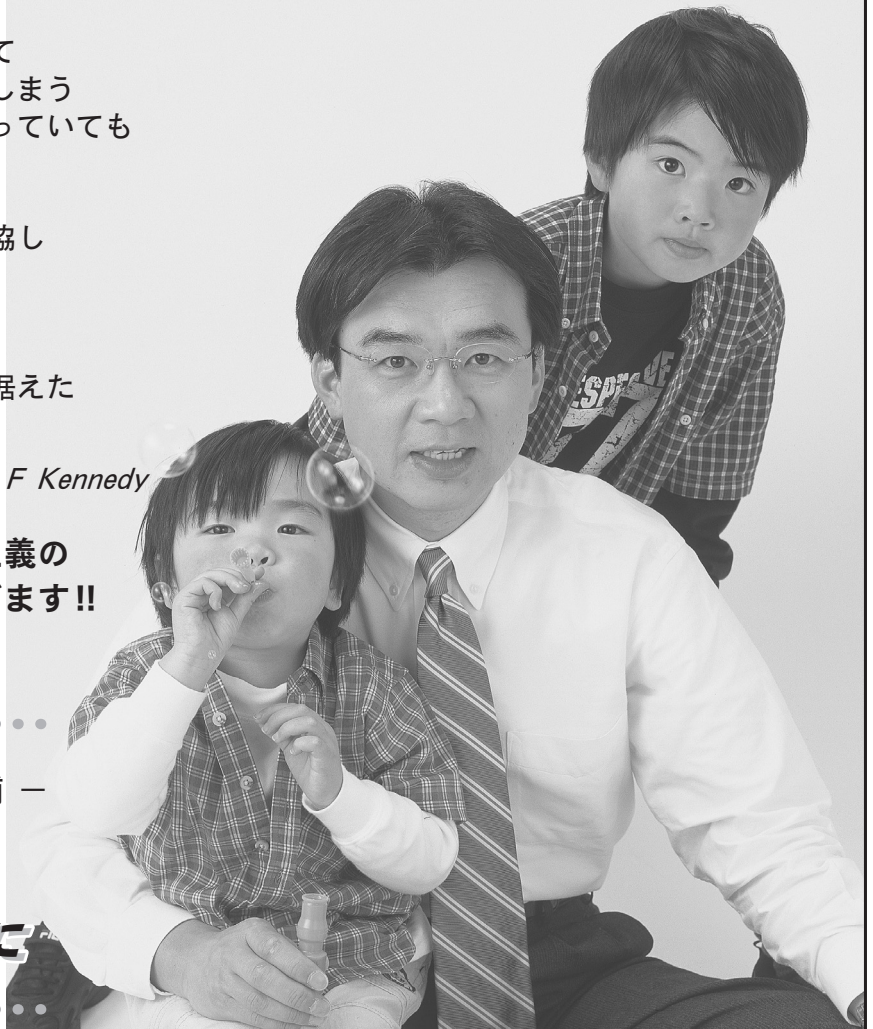
.....  
— 市民からの公募候補 —

**子育て世代の  
声を国政に!**

.....  
**松下政経塾出身・42才**

**ボランティア募集中**

[www.akiba21.net](http://www.akiba21.net)



大変な賑わいで、前評判どおりの見応えのある感動的な作品でした。

日本のアニメーションは、海外からも高く評価されており、今や子どもたちはもちろん大人からも愛される世界に誇りうる日本の「文化」に成長致しております。その第一人者である宮崎駿監督が生み出すコンテンツは、単に世界に通ずるというだけではなく、むしろ世界から日本に人を呼び込めるほどの魅力と可能性に溢れております。ちょうど米国のウォルト・ディズニールカンパニーが、映画産業を母体として発展し、キャラクター・ビジネスによって拡大・成功した企業であるように、エンターテインメント構想力の源泉はその映画の制作にあったといえる良いと思います。

こうした文脈からみてみますと、まさに「スタジオジブリ」は第二の和製「ディズニールカンパニー」であり、第二のディズニールランドやディズニールワールド、ディズニールシーに匹敵する大きな飛躍の可能性を秘めており、しかも内容的にもユニークで親しみもてるキャラクター

が豊富であり、決して「第二の」などと形容する必要性が希薄なほどオリジナリティーの高い極めて優れたものであります。もし、宮崎駿ワールドとでもいふべき作品群のキャラクターであるトトロやネコバス、ロボット兵、カオナシ、ハウルの動く城などが、そのストーリー性とともにも具体的なテーマパークなどに展開されたならば、などどちよつと目を閉じて考えただけで、ワクワクしてこずにはいられませぬ。

知事は、宮崎作品を何かしらご覧になったことはあるでしょうか。また、宮崎駿監督やその作品群などに対して、どのような感想なり評価をお持ちでしょうか。さらには、知事がイメージされるエンターテインメントとはどのようなものでしょうか。まずはじめに、知事のご認識のほどを伺っておきたいと存じます。

**浅野知事答弁** 私が鑑賞したのは、「となりのトトロ」と「魔女の宅急便」ですが、どちらも大変素晴らしい作品でした。宮崎駿監督の作品には、そのストーリー、登場するキャラクターなど、子どもた

ちのみならず、私たち大人にも大きな夢を与えるものが多く、世界に誇ることができるものと考えております。

次に、私がイメージするエンターテインメントに関してですが、私たちは、ディズニールランドなどのテーマパークをはじめ、映画、音楽、演劇などに接することによって、笑い、驚き、感動し、そして時には涙することもあります。人々に夢と希望と共感を与え、明日への活力を与えるものでもあり、人々の心豊かなさをはぐくむには、なくてはならないものと考えております。

#### 秋葉議員質問

アミューズメント・ビジネス誌によれば、世界のテーマパークやアミューズメントパークの年間入場者数ランキングにおいて、世界第一位は東京ディズニールランドの二千五百万人ですが、ベスト一〇のうちの実に六つは米国ディズニールランド系で占められており、ウォルト・ディズニールの一人勝ちといった観を呈しておりますが、ディズニールランドは「永遠に完成することがない」といったウォルト・ディズニールの言葉通り、まさに成長し続けているという

ことでしょうか。もともとディズニールがディズニールランドを作るに至ったエピソードは、伝説としてよく知られているように、一九三〇年代末、彼が二人の愛娘にせがまれて近くの遊園地を訪れた際、子供たちは観覧車や乗り物に乗って喜んでいのに、自分は一人でピーナッツをかじりながらそれを眺めているだけで退屈していることに気づき、子供と大人と一緒に楽しめる場所のアイデアを思いついたといわれております。

わが国では一九八〇年代後半から全国でテーマパークの開発計画が相次ぎ、八九年の時点でテーマパークは六十件、投資総額は一兆三千億円に達しておりましたが、いわゆるバブルの崩壊とともに大小様々なテーマパークがその経営戦略の失敗によって巨額な負債を抱え破綻し、倒産や閉園を余儀なくされてきたことは記憶に新しいところであります。要するに私に言わせれば、その根本的な原因は、世界を相手に通用する魅力あるソフトウエアがなかったという点に

はこうしたハードルを楽にクリアしているものと確信しております。その具体的な証左のひとつは、二〇〇一年一〇月に、東京都三鷹市にオープンした「三鷹の森ジブリ美術館」の成功にも現れていると思います。これは、館主でもある宮崎駿監督自らが、構想、建築、展示企画のすべてを手がけたアニメーションの美術館であり、地下一階地上二階からなる建物は、スタジオジブリと徳間書店、日本テレビが出資した事業会社が建設して、三鷹市に寄付をし、三鷹市は建物を公の施設とすることによって、都立公園内での設置が実現したというものであります。その実質的な運営は先の三者が出資して設立した財団法人によって担われております。

私はかつて、トトロが出迎えてくれるこの美術館を訪ね、その責任者を務めている中島事務局長とお会いし、色々と実情を伺ってきたことがあります。展示がメインの美術館ですから、ディズニールランドにみられるようなアトラクションは何もない小規模なこともあり、年間入場

この点、いわゆる宮崎ワールド



者数は七十万人前後となっており、訪れる外国人が年間九万から一〇万人前後ですから決して少ない数ではありません。しかも開館以来、未だに入場者制限が続いていることには大変驚かされるとともに、国内はもとより外国からの見学者が多いという点にも着目しておく必要があると思

いました。さすがに今では土日を除けば平日のチケット予約は比較的確保し易くなったようですが、当初はひと月前に予約して何とか入手できるという加熱ぶりだったそうです。ちなみにオープン以来黒字計上が続いているとのことでした。おそらくこうした宮崎ワールドがアニメ美術館の枠を超えて、テーマパークなどとして大規模に展開されてもきつと成功するのではないかと思わずにはいられません。

宮崎監督の作品の多くは、主人公が少女であること、舞台が外国であること、あるいは超能力や空を飛べるといったように、明らかに多くの共通項をもった特徴がありますが、それらの底流には一種のアニミズムとともに「自然との共生」や「生命

プレイス」などの展開につなげていく、地道な取り組みの積み重ねが期待されることである。あつた東京ディズニーランドでさえ一九七四年の正式な構想発表から一九八三年の開園に至るまで、九年を要しました。最も大変だったのはむしろ構想発表に至るまでの長年の歳月であり、ちなみに東京ディズニーランドを経営している株式会社エンタールランドへは、地元自治体として、千葉県が三三〇万株(発行株式の約三・三%)、浦安市が六六万株(発行株式の約〇・六四%)を出資保有致しております。

私の具体的なジブリワールド建設構想では、県の役割は、当初は、切っ掛けづくりなどいけばコーディネート的な役割が主となりますが、進捗状況に応じて、事業会社への出資や県有地の優先的賃貸など具体的につめていく必要があると、とくに場所については、仙台市内に残る最大規模の公有地である仙台港背後地のセンター地区、約十五畝(仙台市有地も含む)の活用が最も望ましいと考えております。中々買い手のつかない現況にあり、かといって、ショッピングセンターにムービックスといった安易な事業プランの企業に数少ないまとまった一等地を貸し出すべきではなく、世界から人が呼び込める観光や一大エンターテインメント産業の拠点としての整備構想を優先すべきと考えますが、いかがでしょうか。私のジブリワールド構想への率直なご見解と合わせてお聞かせ下さい。

（いのち）の尊厳」「人間愛」といった価値観が一貫して貫かれており、それはあつたも縄文の固有の文化が根付いているわが東北地方のアイデンティティとも非常に相通するものがあるように思えてなりません。東北地方ほど、宮崎駿の世界を展開していくに相応しいところはな

いと思えます。そこです、宮城県を代表して宮崎監督とお会いして、も先方に応じていただけるかどうかという問題はありますが、是非、一度、文化論や芸術論、あるいは産業としてのエンターテインメント論などをテーマにして、宮崎監督と対談してみ

はどうかと知事に進言申し上げますが、いかががでしょうか。いづれにしても現段階において重要なことは、何か接点や切っ掛けを見い出して、ご縁を結んでおくことに尽きると思

浅野知事答弁 お話がありまして、仙台港背後地にテーマパークとしてジブリワールド、大変興味深い話であると思

博多湾人工島における「宮崎駿の街づくり」が監督自身の申入れによって中止された経過を考えると、現時点では土地区画整備地区へのジブリワールドの誘致や施設建設については宮崎駿監督から協力を得ることは難しいのではないかと考えられます。

宮崎監督の作品の多くは、主人公が少女であること、舞台が外国であること、あるいは超能力や空を飛べるといったように、明らかに多くの共通項をもった特徴がありますが、それらの底流には一種のアニミズムとともに「自然との共生」や「生命

プレイス」などの展開につなげていく、地道な取り組みの積み重ねが期待されることである。あつた東京ディズニーランドでさえ一九七四年の正式な構想発表から一九八三年の開園に至るまで、九年を要しました。最も大変だったのはむしろ構想発表に至るまでの長年の歳月であり、ちなみに東京ディズニーランドを経営している株式会社エンタールランドへは、地元自治体として、千葉県が三三〇万株(発行株式の約三・三%)、浦安市が六六万株(発行株式の約〇・六四%)を出資保有致しております。

私の具体的なジブリワールド建設構想では、県の役割は、当初は、切っ掛けづくりなどいけばコーディネート的な役割が主となりますが、進捗状況に応じて、事業会社への出資や県有地の優先的賃貸など具体的につめていく必要があると、とくに場所については、仙台市内に残る最大規模の公有地である仙台港背後地のセンター地区、約十五畝(仙台市有地も含む)の活用が最も望ましいと考えております。中々買い手のつかない現況にあり、かといって、ショッピングセンターにムービックスといった安易な事業プランの企業に数少ないまとまった一等地を貸し出すべきではなく、世界から人が呼び込める観光や一大エンターテインメント産業の拠点としての整備構想を優先すべきと考えますが、いかがでしょうか。私のジブリワールド構想への率直なご見解と合わせてお聞かせ下さい。

浅野知事答弁 お話がありまして、仙台港背後地にテーマパークとしてジブリワールド、大変興味深い話であると思

博多湾人工島における「宮崎駿の街づくり」が監督自身の申入れによって中止された経過を考えると、現時点では土地区画整備地区へのジブリワールドの誘致や施設建設については宮崎駿監督から協力を得ることは難しいのではないかと考えられます。

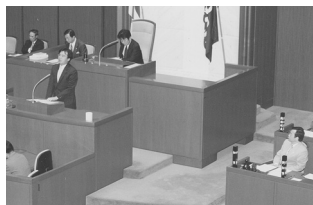
宮崎監督の作品の多くは、主人公が少女であること、舞台が外国であること、あるいは超能力や空を飛べるといったように、明らかに多くの共通項をもった特徴がありますが、それらの底流には一種のアニミズムとともに「自然との共生」や「生命

プレイス」などの展開につなげていく、地道な取り組みの積み重ねが期待されることである。あつた東京ディズニーランドでさえ一九七四年の正式な構想発表から一九八三年の開園に至るまで、九年を要しました。最も大変だったのはむしろ構想発表に至るまでの長年の歳月であり、ちなみに東京ディズニーランドを経営している株式会社エンタールランドへは、地元自治体として、千葉県が三三〇万株(発行株式の約三・三%)、浦安市が六六万株(発行株式の約〇・六四%)を出資保有致しております。

私の具体的なジブリワールド建設構想では、県の役割は、当初は、切っ掛けづくりなどいけばコーディネート的な役割が主となりますが、進捗状況に応じて、事業会社への出資や県有地の優先的賃貸など具体的につめていく必要があると、とくに場所については、仙台市内に残る最大規模の公有地である仙台港背後地のセンター地区、約十五畝(仙台市有地も含む)の活用が最も望ましいと考えております。中々買い手のつかない現況にあり、かといって、ショッピングセンターにムービックスといった安易な事業プランの企業に数少ないまとまった一等地を貸し出すべきではなく、世界から人が呼び込める観光や一大エンターテインメント産業の拠点としての整備構想を優先すべきと考えますが、いかがでしょうか。私のジブリワールド構想への率直なご見解と合わせてお聞かせ下さい。

浅野知事答弁 お話がありまして、仙台港背後地にテーマパークとしてジブリワールド、大変興味深い話であると思

博多湾人工島における「宮崎駿の街づくり」が監督自身の申入れによって中止された経過を考えると、現時点では土地区画整備地区へのジブリワールドの誘致や施設建設については宮崎駿監督から協力を得ることは難しいのではないかと考えられます。



# 第95回 政策研究会

日時：2月16日(水)  
午後4時～5時まで  
テーマ：「法治社会の現状」  
講師：議会事務局法令班 泉 洋一 氏  
場所：宮城県議会棟1F 応接室  
会費：なし(どなたでもお気軽にご参加下さい。)

# 新春フォーラム&懇親会

フォーラムテーマ『宮崎 駿の世界を語る』  
ゲスト「アニメージュ」創刊編集長 宮崎アニメの初代プロデューサー 尾形英夫氏

◇日時 平成17年2月17日(木)  
開場 午後5時30分  
フォーラム 午後6時～7時  
懇親会 7時スタート  
◇会場 パレス平安 (☎022-265-5111)  
◇会費 6,000円(お得なペアー券 10,000円もあります)

◆お申し込みは、お電話でも受付中ですが、事務所あて FAX (375-0057) をいただければ幸いです。

## お知らせ サポーターズ掃除の会

毎月 第二日曜日 午前8時に  
秋葉けんや事務所 に集合

## 特集 『新みやぎ障害者プラン』が来月に策定されます!!

宮城県では、平成10年3月に策定した障害者計画に基づいて、基本理念である「地域で自分らしい生活を安心して送れる社会」を目指して、障害福祉施策を進めてきましたが、時代情勢の変化を踏まえて、平成15年度から計画の見直しを進めてきており、ようやく来月までに策定される見通しになりました。計画期間は平成17年度～22年度までです。

本プランでは、身体障害のある人、知的障害のある人、精神障害のある人で、継続的に日常生活や社会生活に相当な制限を受ける人を対象とします。

また、発達障害については、「発達障害者支援法」が公布され、平成17年4月から施行されることとなっていますが、本プランにおいて自閉症、アスペルガー症候群、学習障害などの発達障害についても対象とします。

いずれにしても、実効性のあがる計画内容にしていくことが重要だと思っておりますが、宮城県における現況は下記の通りとなっています。

身体障害のある人→70,549人(県人口の3%)  
65歳未満約15,200人 65歳以上約31,300人(仙台市除く)

### ・身体障害のある人の障害種別の推移

	H3年度末	%	H15年度末	%
視覚障害	7,425人	11.3	5,601人	7.9
聴覚平衡機能障害	8,324人	13.0	5,963人	8.5
音声言語機能障害	711人	1.1	958人	1.4
肢体不自由	38,176人	59.6	39,091人	55.4
心臓・呼吸器機能障害	6,069人	9.5	12,830人	18.2
じん臓機能障害	2,511人	3.9	3,944人	5.6
膀胱・直腸・小腸機能障害	988人	1.5	2,137人	3.0
免疫機能障害			25人	0.0
計	64,044人		70,549人	

知的障害のある人→11,240人(県人口の0.48%)  
65歳未満10,492人 65歳以上748人

### ・知的障害の障害程度別並びに児・者別の推移(療育手帳交付者数)

	H3年度末	%	H15年度末	%
A・18歳未満	859人	11.9	1,234人	11.0
A・18歳以上	3,251人	45.1	4,437人	39.5
B・18歳未満	962人	13.4	1,667人	14.8
B・18歳以上	2,131人	29.6	3,902人	34.7
計	7,203人		11,240人	

精神障害のある人→46,000人(県人口の1.96%) 平成14年厚生労働省患者調査からの推計  
在宅者(推計)40,654人 入院5,192人 施設・グループホーム利用者154人

### ・精神障害のある人の精神疾患の種類別構成

	入院患者	%	通院患者	%		入院患者	%	通院患者	%
統合失調症	2,818人	54.3	4,318人	40.3	人格障害	31人	0.6	53人	0.5
そううつ病	517人	9.9	1,822人	17.0	精神遅滞	88人	1.7	206人	1.9
脳器質性精神障害	1,073人	20.7	174人	1.6	てんかん	143人	2.8	2,434人	22.8
中毒性精神障害	174人	3.3	186人	1.7	その他	44人	0.8	91人	0.9
その他の精神病	181人	3.5	594人	5.5	不明	0人	0	588人	5.5
神経症	123人	2.4	241人	2.3	計	5,192人		10,707人	

### 秋葉 賢也(あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、42才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。(財)松下政経塾卒塾(宮城県初)。
- 宮城県議会議員(三期目)、総務企画委員会委員、地方分権・地方財政自立改革調査特別委員会委員長、宮城県都市計画審議会委員、宮城県私立学校審議会委員、宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問など多方面で活躍中。
- 著書：「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味：野球・空手・ジョギングなどスポーツ、読書、映画。

